科 目 名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位	
経営情報学専門演習Ⅲ：Seminar in Management InformationⅢ		5B	2	100分×30回	必修	講義/演習・通年	○	
教 員 名		伊藤孝夫：ITO Takao, 松野成悟：MATSUNO Seigo, 田川晋也：TAGAWA Shin-ya, 狭間雅義：HASAMA Masayoshi, 新任教員						
授 業 概 要	本授業では、これまでに経営系科目の授業で修得した経営管理、財務・会計、経営工学、統計などの知識やスキルにもとづいて、業界・企業研究をグループ単位で行う。具体的には、グループごとに調査・研究の対象とする業界や個別の企業を決定し、事業構造や財務指標、競争戦略などに関する定性的・定量的な分析を展開する。そして、企業経営上の解決すべき課題の抽出や解決案のデザインなどを行う。また、その成果を適切にレポートにまとめ、効果的なプレゼンテーションをする能力の修得と向上もめざす。なお、その過程ではグループ内外における学生同士による活発なディスカッションを促し、演習の意図の理解と学生の主体的な取り組み、ならびに論理的な思考と文章表現力を高める。これらのことにより、企業経営に関する実践的で幅広い視野や洞察力、また、さまざまな経営技法の応用力を涵養することを目的とする。							
	到達目標			評価方法			評価配分	
(1) 経営学や会計学などの観点から演習課題の目的を把握し、その内容を理解し、説明することができる。			自学自習によるレポートで評価する。			25%		
(2) これまでに修得した経営系科目の専門知識とスキルにもとづいて、グループでの討議に積極的に参加し、演習に適切に取り組むことができる。			レポートで評価する。			25%		
(3) 演習課題の成果を適切にレポートにまとめ、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。			レポートおよびプレゼンテーションで評価する。			50%		
学習・教育目標		(C)②	JABEE基準1(2)		(d)-(1), (e), (i)			
授 業 計 画	回	項 目	内 容		回	項 目	内 容	
	第1	ガイダンス	本授業の概要を説明し、到達目標と評価方法を受講者に周知徹底する。		第16	演習③	グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。ここでは、各種経営指標に注目して財務分析を中心に展開し、討議する。 原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行い、レポート課題を課すこともある。	
	第2	演習①	グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。ここでは、業界構造や競争戦略、事業内容などに関する定性的な分析を中心に展開し、討議する。 原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行い、レポート課題を課すこともある。		第17		取り上げる具体的な業界や企業は、既存の代表的なケース集、ビデオなどの視聴覚教材、新聞記事などの時事問題、シミュレーションゲーム、工場見学など、適宜担当教員が学生に提供するが、学生からの要望を可能な限り反映させたい。	
	第3		取り上げる具体的な業界や企業は、既存の代表的なケース集、ビデオなどの視聴覚教材、新聞記事などの時事問題、シミュレーションゲーム、工場見学など、適宜担当教員が学生に提供するが、学生からの要望を可能な限り反映させたい。		第18		各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、レポートの提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。	
	第4		各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、レポートの提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。		第19		グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。ここでは、事業内容や競争戦略に関する定量的な分析を中心に展開し、討議する。 原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行い、レポート課題を課すこともある。	
	第5		グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。ここでは、業界構造や企業業績等に関する定量的・統計的な分析を中心に展開し、討議する。 原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行い、レポート課題を課すこともある。		第20		取り上げる具体的な業界や企業は、既存の代表的なケース集、ビデオなどの視聴覚教材、新聞記事などの時事問題、シミュレーションゲーム、工場見学など、適宜担当教員が学生に提供するが、学生からの要望を可能な限り反映させたい。	
	第6		取り上げる具体的な業界や企業は、既存の代表的なケース集、ビデオなどの視聴覚教材、新聞記事などの時事問題、シミュレーションゲーム、工場見学など、適宜担当教員が学生に提供するが、学生からの要望を可能な限り反映させたい。		第21		各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、レポートの提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。	
	第7		各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、レポートの提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。		第22		グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。ここでは、事業内容や競争戦略に関する定量的な分析を中心に展開し、討議する。 原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行い、レポート課題を課すこともある。	
	第8		グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。ここでは、業界構造や企業業績等に関する定量的・統計的な分析を中心に展開し、討議する。 原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行い、レポート課題を課すこともある。		第23		取り上げる具体的な業界や企業は、既存の代表的なケース集、ビデオなどの視聴覚教材、新聞記事などの時事問題、シミュレーションゲーム、工場見学など、適宜担当教員が学生に提供するが、学生からの要望を可能な限り反映させたい。	
	第9	演習②	グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。ここでは、業界構造や企業業績等に関する定量的・統計的な分析を中心に展開し、討議する。 原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行い、レポート課題を課すこともある。		第24	各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、レポートの提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。		
	第10		取り上げる具体的な業界や企業は、既存の代表的なケース集、ビデオなどの視聴覚教材、新聞記事などの時事問題、シミュレーションゲーム、工場見学など、適宜担当教員が学生に提供するが、学生からの要望を可能な限り反映させたい。		第25	グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。ここでは、事業内容や競争戦略に関する定量的な分析を中心に展開し、討議する。 原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行い、レポート課題を課すこともある。		
	第11		取り上げる具体的な業界や企業は、既存の代表的なケース集、ビデオなどの視聴覚教材、新聞記事などの時事問題、シミュレーションゲーム、工場見学など、適宜担当教員が学生に提供するが、学生からの要望を可能な限り反映させたい。		第26	取り上げる具体的な業界や企業は、既存の代表的なケース集、ビデオなどの視聴覚教材、新聞記事などの時事問題、シミュレーションゲーム、工場見学など、適宜担当教員が学生に提供するが、学生からの要望を可能な限り反映させたい。		
	第12		各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、レポートの提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。		第27	各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、レポートの提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。		
	第13		グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。ここでは、業界構造や企業業績等に関する定量的・統計的な分析を中心に展開し、討議する。 原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行い、レポート課題を課すこともある。		第28	取り上げる具体的な業界や企業は、既存の代表的なケース集、ビデオなどの視聴覚教材、新聞記事などの時事問題、シミュレーションゲーム、工場見学など、適宜担当教員が学生に提供するが、学生からの要望を可能な限り反映させたい。		
	第14		取り上げる具体的な業界や企業は、既存の代表的なケース集、ビデオなどの視聴覚教材、新聞記事などの時事問題、シミュレーションゲーム、工場見学など、適宜担当教員が学生に提供するが、学生からの要望を可能な限り反映させたい。		第29	各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、レポートの提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。		
第15	各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、レポートの提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。		第30	まとめ	本授業内容のまとめを行う。また、授業評価アンケートを実施し、理解度や目標到達度を確認する。			
自学自習の内容		レポート課題を課す。						
関連科目	経営管理論Ⅰ・Ⅱ、経営統計学Ⅰ・Ⅱ、経営組織論Ⅰ・Ⅱ、経営財務論Ⅰ・Ⅱ							
教科書	適宜プリントを配付する。また、必要に応じてスライド等による説明を加える。							
参考書								
授業評価・理解度	最終回到授業評価アンケートを行う。							
副担当教員								
備考								